



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシイホールディングス株式会社
 コード番号 6298 URL http://www.yac.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺本 和政 TEL 042-546-1161
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,550	△15.0	437	△17.0	492	△18.6	195	△50.8
29年3月期第3四半期	21,825	22.8	526	143.9	605	165.6	397	ー

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 268百万円 (7.6%) 29年3月期第3四半期 250百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	21.87	21.70
29年3月期第3四半期	44.49	44.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	37,452	14,177	37.3
29年3月期	32,470	14,047	42.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 13,959百万円 29年3月期 13,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	10.00	ー	10.00	20.00
30年3月期	ー	10.00	ー		
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	1.9	1,250	20.6	1,050	△6.5	750	△5.1	83.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	9,706,877株	29年3月期	9,674,587株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	745,801株	29年3月期	745,801株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	8,944,754株	29年3月期3Q	8,928,786株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国ではFRBによる政策金利引き上げやバランスシート縮小等の金融政策正常化の動きの中、緩やかな成長を続けました。欧州では雇用の改善を背景に個人消費が堅調に推移しました。中国においては不動産開発投資が鈍化するなど、緩やかな減速傾向で推移しました。また、世界的には北朝鮮情勢の緊迫化による警戒感が広がっております。

日本経済においては、政府・日銀による経済政策を背景に雇用が着実に改善し、個人消費や企業業績が堅調に推移するなど、総じて着実な回復基調で推移しました。

このような経済状況のもとで当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と市場化に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高185億50百万円(前年同四半期比15.0%減)、営業利益4億37百万円(同17.0%減)、経常利益4億92百万円(同18.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億95百万円(同50.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(ディスプレイ関連事業)

エッチング装置等の売上遅れにより、前年第3四半期連結累計期間の実績に対して売上・利益とも減少しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は70億41百万円(同35.1%減)となり、セグメント損失は1億2百万円(前年同四半期はセグメント利益3億36百万円)となりました。

(メカトロニクス関連事業)

前連結会計年度下期より連結対象となったワイエイシイエレックス株式会社が当連結会計年度においては期初から業績に寄与しているため、業績は総じて堅調に推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は106億25百万円(同7.9%増)となり、セグメント利益は4億27百万円(同8.7%減)となりました。

(クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連装置分野においては、国内のクリーニング需要の減少傾向が続く厳しい環境の中、微減となりました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は9億1百万円(同19.7%減)、セグメント損失は60百万円(前年同四半期はセグメント利益1億22百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は299億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億26百万円増加しました。主な増加要因は仕掛品33億51百万円、現金及び預金25億75百万円、有価証券9億14百万円、未収消費税2億60百万円であり、主な減少要因は受取手形及び売掛金17億28百万円であります。固定資産は75億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億44百万円減少しました。主な減少要因は投資有価証券7億59百万円であります。その結果、総資産は374億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億82百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は166億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億72百万円増加しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金26億12百万円、前受金24億56百万円、短期借入金7億81百万円であります。固定負債は65億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億20百万円減少しました。主な減少要因は長期借入金9億83百万円であります。その結果、負債は232億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億52百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は141億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増加しました。その結果、自己資本比率は37.3%となり、1株当たり純資産は1,557円80銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期連結期間の業績につきましては、ディスプレイ関連事業及びメカトロニクス関連事業において、当期売上計上見込としていた案件の受注に遅れが発生したため、売上・利益とも計画を下回る見通しとなりました。

なお、受注の遅れにつきましては、受注時期が第3四半期連結累計期間から第4四半期連結累計期間にシフトしたものであり、当期末受注残につきましては、前期実績に対して大幅増となる見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,984,055	9,559,277
受取手形及び売掛金	10,866,732	9,138,390
有価証券	48,330	962,835
商品及び製品	541,522	613,036
仕掛品	4,168,856	7,520,456
原材料及び貯蔵品	963,999	1,090,582
繰延税金資産	324,840	351,578
その他	505,288	770,403
貸倒引当金	△95,527	△72,077
流動資産合計	24,308,097	29,934,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,618,681	3,740,078
減価償却累計額	△2,742,811	△2,797,341
建物及び構築物(純額)	875,869	942,737
機械装置及び運搬具	1,867,903	2,027,196
減価償却累計額	△1,439,912	△1,490,886
機械装置及び運搬具(純額)	427,990	536,309
工具、器具及び備品	2,950,820	3,202,420
減価償却累計額	△2,482,475	△2,507,665
工具、器具及び備品(純額)	468,345	694,755
土地	3,080,922	3,080,922
リース資産	145,805	119,271
減価償却累計額	△72,932	△67,337
リース資産(純額)	72,873	51,934
建設仮勘定	520,314	355,889
有形固定資産合計	5,446,315	5,662,548
無形固定資産		
のれん	692,593	592,508
ソフトウェア	88,344	85,623
リース資産	11,681	34,709
電話加入権	20,716	20,716
特許実施権	72,000	45,000
その他	4,921	4,539
無形固定資産合計	890,256	783,096
投資その他の資産		
投資有価証券	1,257,941	498,331
長期貸付金	3,884	3,545
繰延税金資産	203,992	181,276
長期滞留債権等	171,276	199,327
その他	387,357	415,731
貸倒引当金	△198,593	△225,438
投資その他の資産合計	1,825,859	1,072,773
固定資産合計	8,162,431	7,518,418
資産合計	32,470,528	37,452,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,516,225	8,128,887
短期借入金	3,788,223	4,570,129
リース債務	30,510	31,297
未払法人税等	79,324	92,086
賞与引当金	375,133	220,550
製品保証引当金	132,013	144,689
未払費用	362,790	375,491
前受金	388,840	2,845,811
その他	234,355	270,625
流動負債合計	10,907,416	16,679,570
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	5,369,270	4,385,973
長期未払金	12,983	23,883
リース債務	57,719	65,026
繰延税金負債	118,538	131,295
役員退職慰労引当金	83,319	75,764
退職給付に係る負債	1,073,708	1,112,820
資産除去債務	71,412	70,154
その他	28,448	30,450
固定負債合計	7,515,400	6,595,368
負債合計	18,422,817	23,274,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,778,669
資本剰余金	3,586,282	3,608,272
利益剰余金	8,296,798	8,313,557
自己株式	△638,014	△638,014
株主資本合計	14,001,747	14,062,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,106	134,225
為替換算調整勘定	△258,386	△220,514
退職給付に係る調整累計額	△13,138	△16,668
その他の包括利益累計額合計	△203,417	△102,957
新株予約権	46,982	51,677
非支配株主持分	202,399	166,761
純資産合計	14,047,711	14,177,965
負債純資産合計	32,470,528	37,452,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	21,825,918	18,550,298
売上原価	18,003,098	14,440,962
売上総利益	3,822,819	4,109,336
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	1,172,356	1,284,339
賞与引当金繰入額	73,784	62,347
福利厚生費	45,880	51,756
賃借料	102,653	124,530
業務委託費	89,491	95,948
研究開発費	310,354	406,568
減価償却費	174,990	164,979
その他	1,326,735	1,481,836
販売費及び一般管理費合計	3,296,247	3,672,307
営業利益	526,572	437,028
営業外収益		
受取利息	15,021	14,195
受取配当金	8,183	24,318
為替差益	81,451	—
受取賃貸料	10,483	7,575
貸倒引当金戻入額	—	61,165
その他	25,974	34,142
営業外収益合計	141,114	141,397
営業外費用		
支払利息	46,824	43,261
ファクタリング料	220	838
為替差損	—	6,820
外国源泉税	—	20,607
その他	14,876	13,940
営業外費用合計	61,921	85,468
経常利益	605,766	492,957
特別利益		
固定資産売却益	7,308	2,687
負ののれん発生益	20,829	—
その他	3	11
特別利益合計	28,141	2,699
特別損失		
固定資産除売却損	8,701	5,348
事業構造改善費用	—	41,430
子会社清算損	—	7,706
その他	6	—
特別損失合計	8,708	54,485
税金等調整前四半期純利益	625,199	441,171
法人税、住民税及び事業税	103,022	293,319
法人税等調整額	115,436	△20,232
法人税等合計	218,458	273,086
四半期純利益	406,740	168,084
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9,438	△27,572
親会社株主に帰属する四半期純利益	397,301	195,657

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	406,740	168,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,398	66,518
為替換算調整勘定	△196,503	37,871
退職給付に係る調整額	406	△3,530
その他の包括利益合計	△156,698	100,860
四半期包括利益	250,041	268,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,850	296,117
非支配株主に係る四半期包括利益	10,191	△27,172

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	10,854,262	9,848,018	1,123,637	21,825,918	—	21,825,918
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,854,262	9,848,018	1,123,637	21,825,918	—	21,825,918
セグメント利益	336,988	467,790	122,998	927,778	△401,205	526,572

(注) 1. セグメント利益の調整額△401,205千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、ミュキエレクトクス株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「メカトロニクス関連事業」のセグメント資産が2,596,464千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

第2四半期連結会計期間において、ミュキエレクトクス株式会社の株式取得により「メカトロニクス関連事業」セグメントにおいて20,829千円の負ののれんの発生益を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	7,025,820	10,625,180	899,298	18,550,299	-	18,550,298
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,020	420	2,461	18,901	△18,901	-
計	7,041,840	10,625,600	901,759	18,569,200	△18,901	18,550,298
セグメント利益 又は損失（△）	△102,381	427,152	△60,837	263,933	173,095	437,028

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額173,095千円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等853,666千円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△680,571千円であります

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において、ディスプレイ関連事業及びメカトロニクス関連事業での一部受注装置の不採算案件や納期遅れ等により、営業損失1億42百万円となり、この結果3期連続で営業損失となりました。このような状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかしながら、当社は、平成29年4月1日付で、会社分割による持株会社制に移行しており、当事業年度以降は、営業利益の計上が見込まれております。また、メイン銀行を中心とした取引金融機関よりの支援体制も十分であり、加えて当社グループ内でのキャッシュ・マネジメント・システム導入により、グループ各社の資金を効率的に活用してまいります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。